

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

クラサケミカル株式会社（証券コード：-）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB
安定的

■格付事由

- レゾナックグループの事業分社化（25年1月）により発足した石油化学専門メーカー。エチレン、プロピレンなどの基礎石油化学製品を川下の誘導品メーカー向けに供給するほか、アセチル系誘導品を主軸とした有機化学品を手掛ける。大分コンビナートに立地する中核拠点は1969年の操業開始で、50年超の業歴を有する。同拠点は国内エチレンセンターとして最も西に位置し、中東やアジアとの輸出入面で地理的優位性を有する。現在はレゾナック・ホールディングスの完全子会社だが、26年内に株式の上場を予定。上場後は同社の出資比率は20%未満となり、同社から非連結化（持分法非適用）される予定である。役員派遣等も行われない予定であることから、同社の当社に対する支配・関与度は弱まり、同社グループによる支援の蓋然性も低下する見込みである。このため、本件格付では当社単独の信用力を反映させている。
- 石油化学に特化した事業内容であり、当社の構造的な事業リスクは比較的高い。近年は中国のエチレン設備の新增設などで世界的に石油化学製品の需給はインバランスの状況が続いており、事業環境は厳しく推移している。こうした状況を受け、国内業界各社では構造改革や事業再編が進みつつある。ただ、当社の中核拠点は立地条件や設備の効率性、高い運転管理能力などを背景に長期にわたり安定した操業を継続し、比較的高い稼働率を維持している。コンビナートでは誘導品メーカーと良好な関係が保たれ、エネルギー・素材系の他社とも協調的な関係が構築されている。将来的なカーボンニュートラルへの対応には留意する必要があるが、当面、安定して自立的な事業運営が可能と見られ、事業環境が厳しく推移するなかでも底堅く利益を確保していけよう。また、財務構成は健全で当面の財務リスクは限定的に推移すると考えられる。以上より、長期発行体格付を「BBB」とし、見通しを「安定的」とした。
- 需要変動や輸出市況、在庫受払差などの影響を受けるため、当社の業績のボラティリティは大きい。ただし近年、同業他社の業績が大幅に悪化するケースがある中であって、相対的に良好な業績を維持している。レゾナック・ホールディングスの決算状況を踏まえると、25/12期はナフサ価格下落に伴う製品市況の下落や在庫受払差の悪化などでやや大きな減益を余儀なくされたもようだが、手堅く利益を確保した。26/12期は上期に4年に一度の大型定修を計画するため販売数量減が見込まれるが、引き続き、一定の営業利益を確保できると想定される。一方、財務状況に関し、有利子負債は運転資金見合いの短期借入金を中心の調達構造となっている。また、過年度の業績変動や当面の投資計画などを前提とすれば、自己資本の水準は相応の財務耐久力を備えている。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：クラサケミカル株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年3月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「化学」(2022年6月15日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) クラサケミカル株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル